

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耕耘作業を行うロータリ作業部を回転自在に支持する機体と、
前記機体に設けられ、前記ロータリ作業部の上部を覆うカバー部と、
前記カバー部の後端部に回転可能に支持されたエプロンと、
前記エプロンの背面に取り付けられた支持部材と、
前記カバー部に取り付けられ、前記エプロンが自由に回転できない状態であるロック状態と前記エプロンが自由に回転できる状態であるフリー状態とに切り替えることができるエプロン回転制御部と、を備え、

前記エプロン回転制御部は、後端部が前記支持部材に対して、摺動可能に取り付けられたロッド部と、

前記ロッド部の前端部を回転自在に支持し、前記カバー部に対して回転自在に支持されて、被係合部を有する第 1 アーム部と、

前記カバー部に回転自在に支持され、係合部を有する第 2 アーム部と、

前記第 2 アーム部を回転させる駆動部とを有し、

前記係合部は、前記ロッド部が前方に移動するのに伴い前記第 1 アーム部が回転するときに、前記被係合部の回転を規制することを特徴とする農作業機。

【請求項 2】

前記被係合部は、ピン部材であることを特徴とする請求項 1 に記載の農作業機。

【請求項 3】

前記駆動部は、ワイヤとワイヤ制御部を含むことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の農作業機。

【請求項 4】

耕耘作業を行うロータリ作業部を回転自在に支持する機体と、
前記機体に設けられ、前記ロータリ作業部の上部を覆うカバー部と、
前記カバー部の後端部に回転可能に支持されたエプロンと、
前記エプロンの背面に取り付けられた支持部材と、
前記カバー部に取り付けられ、前記エプロンが自由に回転できない状態であるロック状態と前記エプロンが自由に回転できる状態であるフリー状態とに切り替えることができるエプロン回転制御部と、を備え、

前記エプロン回転制御部は、後端部が前記支持部材に対して、摺動可能に取り付けられたロッド部と、

前記ロッド部の前端部を回転自在に支持し、前記カバー部に対して回転自在に支持されて、係合部を有する第 1 アーム部と、

前記カバー部に回転自在に支持され、被係合部を有する第 2 アーム部と、

前記第 2 アーム部を回転させる駆動部とを有し、

前記被係合部は、前記ロッド部が前方に移動するのに伴い前記第 1 アーム部が回転するときに、前記係合部の回転を規制することを特徴とする農作業機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、農作業機に関する。特に、本発明は、エプロンが自由に回転できない状態であるロック状態とエプロンが自由に回転できる状態であるフリー状態とに切り替えることができるエプロン回転制御部を備える農作業機に関する。

【背景技術】

【0002】

耕耘ロータにより耕耘された耕土を整地するエプロン（第 1 整地板）とエプロンの後部に上下方向に回転自在に設けられて耕土表面を均平にするレベラ（第 2 整地板）を備える農作業機、例えば、代かき作業機は、一般に、走行可能な走行機体の後部に三点リンク連結機構を介して昇降可能に連結されて、走行機体の前進走行とともに進行しながら代かき

10

20

30

40

50